



仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

平成31年度第1号(通算第56号)

平成31年4月26日発行(隔月発行)

発行 宮城県仙台地方振興事務所

● 今月号の元気な話題 ●

林
振

見守ってください、野鳥の子育て・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

【林業振興部】

林業振興部

農
振

大郷町大松沢で大規模野菜生産施設の
起工式が行われました・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

【農業振興部】

農業振興部

水
漁

亘理町立長瀬小学校, 丸森町立大張小学校において,
シロザケ稚魚の放流体験学習が行われました・・・・・・・・・・ 3

【水産漁港部】

水産漁港部

地
振
水
漁

今年も「仙台塩釜水産加工品個別商談会inとちぎ」
を開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

【地方振興部・水産漁港部】

地方振興部・水産漁港部

水
漁

漁業士会南部支部魚食普及活動
「海のマルシェin 塩釜」を開催しました・・・・・・・・・・ 4

【水産漁港部】

水産漁港部

地
振

「みなと塩竈海保カレープロジェクト」
お披露目・試食会が開催されました・・・・・・・・・・ 4

【地方振興部】

地方振興部

農
整

名取土地改良区合併創立50周年記念式典
が開催されました・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

【農業農村整備部】

農業農村整備部

春は野生鳥獣の子育ての季節です。特に鳥類は人の生活圏内に巣を作る種類もいるので、親鳥が一生懸命ヒナにえさを運ぶ様子を目にすることも多いと思います。ヒナが大きくなりある程度飛べるようになると巣立ちをしますが、しばらくの間は親鳥からえさをもらいながら飛び方やえさの採り方を学び、少しずつ一人前になっていきます。



▲ 関係団体は毎年キャンペーンを実施しています

巣立ちしたばかりのヒナは、まだ上手に飛べないので地面に落ちてしまうことがあり、林業振興部には「鳥のヒナが地面に落ちている」、「近くに親鳥がないので拾ってしまった」、「猫やカラスに食べられてしまったらかわいそう」など、心配された方々からの連絡が多数寄せられます。このような場合、人間が気づかないだけで親鳥が近くにいることが多いのですが、人間がいると親鳥を遠ざけてしまうことになり、かわいそうだからと拾っても健全な状態に育てることは非常に難しいのが現実です。また、厳しいようですが、親鳥についていく力のないヒナは淘汰されるのが自然の摂理です。

このようなことから、地面に落ちている野鳥のヒナを見つけても、極力手を出さずに見守ってくださいますよう御協力をお願いします。

大郷町大松沢で大規模野菜生産施設の起工式が行われました

3月28日（木）、大郷町大松沢において、株式会社村上農園（本社：広島市）が整備する大規模野菜生産施設「宮城大郷生産センター（仮称）」の新築工事起工式が実施されました。

村上農園は、千葉、山梨、神奈川、静岡、三重、広島、福岡の生産施設でブロッコリースプラウトやかいわれ大根などの発芽野菜、豆苗（とうみょう）を生産する農業法人です。これまでは主に関東で生産した商品を東北へ長距離輸送していましたが、新たな生産施設を東北で初めて大郷町に設けることで、輸送にかかる時間とコストを削減し、鮮度の高い商品を東北各県へ出荷する計画です。

生産施設の敷地面積は東京ドーム1.3個分に相当し、温室規模約42,000㎡は、発芽野菜では国内最大規模となります。また、施設建設は4期に分けて行い、第1期工事は投資規模約15億円で、温室約15,000㎡と作業棟の建設を進め、2020年中の竣工を予定しています。

今後の施設稼働により、大郷町における施設園芸の取組拡大や地元住民の就労機会の創出につながることが期待されます。



▲ 起工式の様子

亘理町立長瀬小学校, 丸森町立大張小学校において, シロザケ稚魚の放流体験学習が行われました

【水産漁港部】

毎年、秋から冬にかけてふるさとの川を目指して帰ってくるシロザケは、沿岸漁業だけでなく、「はらこ飯」などの材料として、本県の食文化に欠かせない重要な水産資源です。シロザケ資源の維持増大を図るため、管内の6つのふ化場でふ化放流事業を行っています。

近年、海洋環境の変化等に伴い宮城県へ回帰するシロザケの来遊数は減少していますが、関係者の努力により、各ふ化場とも計画どおり放流できる見込みです。



▲亘理ふ化場での稚魚への餌やり体験

このような中、4月15日（月）に亘理町立長瀬（ながとろ）小学校5年生36名が亘理ふ化場で育てたサケ稚魚を、4月16日（火）に丸森町立大張（おおはり）小学校3, 4年生6名が丸森ふ化場で育てたシロザケの稚魚を放流する体験学習を行いました。参加した児童は、ふ化場で稚魚への餌やりを体験し、ふ化場管理者や水産漁港部職員からサケの生態に関する説明を聞いた後、4年後、阿武隈川に無事に帰ってきてくることを願い、シロザケの稚魚を放流しました。



▲長瀬小学校児童による稚魚放流の様子

今年も「仙台塩釜水産加工品個別商談会inとちぎ」を開催しました 【地方振興部・水産漁港部】

昨年度に引き続き、3月7日（木）に栃木県宇都宮市内において、東日本大震災により被災した管内の水産加工業者の販路開拓・拡大支援の一環として、仙台銀行共催、栃木銀行協力のもと、当事務所主催で商談会を開催しました。

宇都宮市で2回目の開催となった今回は、栃木県を拠点とするスーパー、百貨店、水産卸、高速道路サービスエリアの他、群馬県や茨城県を拠点とするスーパー等計17社のバイヤー参加と、仙台管内及び仙台銀行取引先の水産加工業者15社により、94件の商談が行われました。

参加したバイヤーと水産加工業者の多くは前回から継続して2回目の参加者が多かったものの、前回の商談におけるバイヤーからのアドバイスを参考に改良を加えた商品の出展もみられました。バイヤーからは、商品を売り込む姿勢、意気込みに誠実さを感じるといった良い評価をいただきました。また、今回の商談会では、近年の消費者の動向から、特に電子レンジやフライパンで手軽に調理できる簡便商品へ関心が集まっていました。

今回の商談会を機に、販路開拓・取引拡大に向けて、バイヤーとの継続的な商談の取り組みが期待されます。



▲商談の様子



▲展示商品を前にフリー商談

漁業士会南部支部魚食普及活動 「海のマルシェin 塩釜」を開催しました

【水産漁港部】

漁業士会南部支部（以下、「南部支部」）では魚食普及活動の一環として3月17日（日）、塩釜水産物仲卸市場で「海のマルシェin塩釜」を開催し、旬の水産物の試食・販売等のイベントを行いました。

今回は、南部支部管内の漁業士が自ら育てたカキ、ノリ、ワカメといった旬の水産物を持ち寄り、蒸しカキやワカメ汁の試食の他、焼きノリ体験や水産物の養殖工程を図示したパネル、カキ養殖資材や生ワカメの展示を行いました。イベント当日は休日ということもあり、県内外からたくさんの方々に足を運んでいただきました。来場者からは、「カキやワカメの試食が美味しかった。」「焼きノリ体験が楽しかった。」「養殖工程を理解することができた。」「生産者の方と直接関われる貴重な機会だった。」「などの感想をいただき、漁業士にとって今後の生産活動の励みとなる良い機会となりました。

今後も南部支部では積極的に魚食普及活動を行い、水産物の消費拡大を図っていきます。



蒸しカキの試食



展示コーナー

「みなと塩竈海保カレープロジェクト」 お披露目・試食会が開催されました

【地方振興部】

4月24日（水）、マリンゲート塩釜で「みなと塩竈海保カレープロジェクト」のお披露目・試食会が開催されました。同プロジェクトは、塩釜商工会議所が宮城海上保安部との協力の下に推進するカレーによる地域活性化事業です。海上保安部のレシピに基づく事業化として全国初となります。

当日は[巡視船まつしま]シーフードカレー、[巡視船ざおう]ビーフカレー、[巡視船くりこま]フルーツキーマカレーがお披露目され、出席者にはビーフカレーが振る舞われました。おかわりをする出席者も多数見られ、今後のプロジェクト展開が非常に楽しみになる会となりました。

海上保安部の船舶では入港日にカレーを食べる伝統があり、塩竈市にある宮城海上保安部では、船舶ごとにさまざまなカレーが食べられています。

日本有数のマグロ水揚げを誇る塩竈市魚市場があり、「寿司の街塩竈」としても有名な塩竈市。新たな観光グルメとして、海保カレーが観光振興・地域活性化への有力コンテンツとなることが期待されます。



[巡視船まつしま]シーフードカレー



[巡視船ざおう]ビーフカレー



[巡視船くりこま]フルーツキーマカレー

名取土地改良区合併創立50周年記念式典が開催されました

【農業農村整備部】

名取土地改良区合併創立50周年記念式典が3月28日（木）、岩沼市のハナトピア岩沼において開催されました。本式典は名取川土地改良区と稲荷山堰土地改良区が統合合併し、名取土地改良区となって50年を迎えたことを記念した式典で、歴代理事長、元役職員を招き、功労者表彰や記念講演を行ったものです。

名取土地改良区は、国営名取川農業水利事業をはじめ、県営ほ場整備事業、団体営ほ場整備事業、団体営かんがい排水事業など様々な事業を行ってきました。

東日本大震災後は、復興交付金を活用したほ場整備事業の実施や先駆的な2ha区画の導入など、名取、岩沼地域の復旧・復興に貢献されたことから、平成29年3月24日（金）の第58回全国土地改良功労者等表彰において「農林水産大臣賞」を受賞しました。

今後も名取土地改良区の活躍を期待しております。



▲名取土地改良区理事長より式辞



▲功労者表彰の様子



▲記念講演の様子

！ トピックス

【みやぎ水産の日】 4月のおすすめは「カレイ」

毎月第3水曜日は「みやぎ水産の日」です。
(水曜日の「すい」と第3の「さん」から)
4月のおすすめは「カレイ」！



「みやぎ水産の日」について詳しくは、県水産振興課の[ホームページ](#)をご覧ください。

かわまちてらす関上 オープン！

4月25日（木）、名取市関上の名取川沿いに、商業施設「かわまちてらす関上」がオープンしました。

飲食店やカフェなど、震災前から関上地区で営業していた9つの店を含む計27店舗が入ります。



●過去の仙台・宮城元気ニュース●

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/tigenki-news.html>



●仙台・松島エリアの観光情報●

<http://www.pref.miyagi.jp/site/event/>



問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（担当：首藤）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/> ※次号は令和元年6月下旬発行予定です。